

# 経済再生と持続的発展に向けた イノベーション創出の方程式



**発明協会での取り組み事例**

発明協会は知財に関するさまざまな事業を実施している。例えば、知財専門家の活用に関しては全国の中小企業やベンチャー企業・大学・研究機関などにわたる知財の専門的能力・経験・ネットワークを社会に対して幅広く提供していく「知的財産ファンストップサービス事業」を行っており、知財の有効活用に必要なツールの提供を草の根的に展開している。具体的には知的財産コンサルティングや特許マップ作成、カスタ

マイズ研修など、同協会の強みを生かしたサービスを提供している。例えば、特に簡易型の先行技術調査は企業、大学、研究機関から個人まで幅広く利用されており、まさに草の根的展開といえる。さらには、この専門的能力を担う頭脳集団の一部は定年退職後にきたで第一線で培った専門能力を生かす形で活躍しており、各ユーザーへの専門的能力の提供のみならず、こうした知財への貢献の場の提供や技術の伝承といった効果ももたらしている点は特筆す

**企業の知財に対する責任**

近年、企業などのウェブサイトでCSR報告書や社会・環境報告書といったCSRに関する情報が多く見られるようになった。日本経済団体連合会企業行動委員会の「CSR（企業の社会的責任）に関するアンケート調査結果（09年9月）」によると、企業はCSR活動を推進するための体制・制度の導入が05年以前から進み、持続可能な社会づくりへの貢

**おわりに**

このように、経済再生と持続的発展を遂げるためには、今日のイノベーションの時代の専門家の活用と、明日のイノベーションのための子どもたちの育成に対して、あらゆる具体的な取り組みを進めていく、イノベーションの時代に対応するためのこうした取り組みに、政府、企業、社会からの多くのサポートが期待される。

## 求められる取り組み

べきところである。また、人材育成に関しては、74年から主に小・中学生を対象とした「少年少女発明クラブ」を展開しており、11年3月末時点で全国各地に204の少年少女発明クラブを設置している。同クラブでの取り組みは、発明やデザイン、ブランドの創出といったゴールを見据えながら、各クラブで組み立てた年間のカリキュラムに沿って進められる。各人のレベルに応じて、基本的な道具の使い方が始まり各種体験も織り交ぜながら、最終的には自ら課題を見つけて自らのアイデアを形にして解決を図るという

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 専門家の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 取り巻く環境とキープポイント

ていくこと、つまり外部専門家の活用を進めていくことが重要であり、こうした企業などへのサポートが求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

## 発明協会の活用と人材育成

イノベーションと知財は切り離せない関係だ。「オープンな関係を築く」可能性を持つ上で、知財の専門能力を高めることは当然に求められてくる。また、イノベーションの創出主体は人であることから、イノベーション環境の整備において人材育成が重要であることはいうまでもないが、持続

的発展を目指すにあたっては、次代を担う若者たちの育成環境の充実を図ることが最も重要である。特に、ブランドやデザインを含めたイノベーションの新しい価値を考慮した場合、単なる創造力の向上だけではなく、これらも含めた多角的・総合的な創造力の向上が重要であり、こうした人材育成活動への継続的な取り組みが求められてくる。形がままかな流れである。

なお、同協会の専門能力の提供に関してはhttp://www.jit.or.jp/、財制度を模擬体験する活動や地元における課題の解決を図る活動、チーム別に取り組む取り組み、競い合う「全国少年少女

<div><div>RYUKA</div><div>with Free Vision</div><div>東京・シリコンバレー</div><div>所長 弁理士 龍華 明裕 パートナー 弁理士 明石 英也 パートナー 弁理士 東山 忠義 Jr.パートナー 弁理士 飯山 和俊</div><div>secretary@ryuka.com www.ryuka.com 03-5339-6800</div></div>	<div><div>RYUKA国際特許事務所</div><div>特許のプロフェッショナル集団として、事業の保護と創出へのリーダーシップを発揮し、産業と社会の成長に貢献する。</div><div>Jr.パートナー 弁理士 高田 学 Jr.パートナー 弁理士 森川 剛一 顧問 弁理士 青木 輝夫</div><div>米国特許弁理士 Stephen HAMON 米国特許弁理士 Brad COPELY 中国弁理士 Jin CHUNYING</div></div>	<div><div>筒井国際特許事務所</div><div>所長 弁理士 筒井 大和</div><div>〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目3番10号 新御苑ビル3階 TEL (03) 5368-2211 FAX (03) 5368-2213 URL http://www.tsutsui-pat.com E-mail info@tsutsui-pat.com</div></div>	<div><div>協和特許法律事務所</div><div>所長 弁理士 勝沼 宏仁</div><div>〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目2番3号 富士ビル3階 TEL (03) 3211-2321 (代) FAX (03) 3211-1710 URL http://www.kyowapatent.co.jp/</div></div>	<div><div>伊東国際特許事務所</div><div>所長 弁理士 伊東 忠彦 (特定侵害訴訟代理付託)</div><div>〒150-6032 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー32階 TEL (03) 5424-2511 (代) FAX (03) 5424-2525 E-mail: itohpat@itohpat.co.jp URL http://www.itohpat.co.jp</div></div>			
<div><div>岡部国際特許事務所</div><div>所長 弁理士 岡部 譲</div><div>〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル602号 TEL (03) 3213-1561 (代) FAX (03) 3214-0929 E-mail: info@okabeintl.jp URL http://www.okabeintl.jp/</div></div>	<div><div>中村合同特許法律事務所</div><div>〒100-8355 東京都千代田区丸ノ内3-3-1 新東京ビル TEL (03) 3211-8741 (代) FAX (03) 3214-6358・6359</div></div>	<div><div>井澤国際特許事務所</div><div>創立81周年 弁理士 井澤 洵 弁理士 井澤 幹 弁理士 三谷 祥子 弁理士 山下 彰子 弁理士 茂木 康彦</div><div>東京都港区西新橋3-7-1 ランディック第2新橋ビル TEL (03) 6402-1381 FAX (03) 6402-1382 URL : http://www.izawapat.jp</div></div>	<div><div>瀧野国際特許事務所</div><div>所長 弁理士 瀧野 秀雄</div><div>〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2-36-13 広尾SKビル4階 TEL (03) 5421-2331 FAX (03) 5421-2351 E-mail : kokunai@takinopat.com URL : http://www.takinopat.com</div></div>	<div><div>浅村特許事務所</div><div>創立189年 特許業務法人 代表社員 所長 弁理士 浅村 皓 社員 副所長 弁理士 浅村 肇</div><div>〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル331 TEL (03) 3211-3651 (代) FAX (03) 3216-1239 3270-5076 E-mail : asamura@asamura.jp URL http://www.asamura.jp</div></div>			
<div><div>篠原・小宮国際特許事務所</div><div>弁理士 篠原 泰司</div><div>〒102-0074 東京都千代田区九段南3-7-14 千代田Kビル2階 TEL (03) 6268-9650 (代) FAX (03) 3511-9655</div></div>	<div><div>OGURA &amp; CO. 小倉特許事務所</div><div>所長 弁理士 小倉 正明 弁理士 戸村 哲郎</div><div>〒105-0004 東京都港区新橋5丁目13番4号 YMG新橋ビル5階 TEL (03) 3436-2398 (代) FAX (03) 3436-1307 E-mail : info@ogurapatent.com</div></div>	<div><div>太陽国際特許事務所</div><div>所長 弁理士 中島 淳 副所長 弁理士 加藤 和詳 副所長 弁理士 福田 浩志</div><div>〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 TEL (03) 3357-5171 (代) FAX (03) 3357-5180 (代) URL http://www.taiyo-nk.co.jp</div></div>	<div><div>杉村萬国特許事務所</div><div>SUGIMURA International Patent &amp; Trademark Attorneys</div><div>〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館36階 Tel: 03(3581)2241(代表) Fax: 03(3580)0506 E-mail: k.sugimura@sugi.pat.co.jp http://sugi.pat.co.jp</div></div>				
<div><div>八田国際特許業務法人</div><div>代表社員 弁理士 八田 幹雄 副所長 弁理士 藤田 健 所長 代理弁理士 都 祭 正 則 所長 代理弁理士 長谷川 俊弘 弁理士 貴志 浩 充 弁理士 山田 牧 人 弁理士 松平 亜希子 弁理士 荒木 一 秀 弁理士 久野 栄 造 弁理士 熱海 淳</div><div>〒102-0084 東京都千代田区二番町11番地9 ダイアハルス二番町 TEL (03) 3230-4766 FAX (03) 3263-4668 URL http://www.hatpat.jp E-mail info@hatpat.co.jp</div></div>	<div><div>高橋内外国特許事務所</div><div>弁理士 高橋 勇</div><div>〒101-0031 東京都千代田区東神田1丁目10番7号 南日本ビル7階 TEL (03) 3862-6520 FAX (03) 3862-6170 E-mail : takapat@tkp.hs.plala.or.jp</div></div>	<div><div>岩堀特許事務所</div><div>弁理士 岩堀 邦男 弁理士 大沼 加寿子</div><div>〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目3番1号 共同ビル赤坂613号 TEL (03) 3587-1625 FAX (03) 3589-0184 e-mail: iwap@fureai.or.jp</div></div>	<div><div>たんば特許事務所</div><div>弁理士 丹羽 匡孝</div><div>〒101-0022 東京都千代田区神田練馬町73 プロミエ秋葉原1203 TEL (03) 5207-9340 FAX (03) 5207-9341 E-mail : tamba@tamba-pat.com URL : http://www.tamba-pat.com/</div></div>	<div><div>井出国際特許事務所</div><div>弁理士 井出 正威 弁理士 野上 晃</div><div>〒102-0076 東京都千代田区五番町3-1 五番町グランドビル9階 TEL (03) 3263-7749 FAX (03) 3263-6081 E-mail : mide@midepat.com</div></div>			
<div><div>アイメックス特許事務所</div><div>所長 弁理士 木下 茂 弁理士 石村 理恵 弁理士 横川 聡子 弁理士 藤田 朗子</div><div>〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-1 パシフィックマークス川崎 11階 TEL (044) 246-5534 FAX (044) 223-3235 URL http://www.imexpat.com/ E-mail: info@imexpat.com</div></div>		<div><div>谷・阿部特許事務所</div><div>特許業務法人 代表社員 弁理士 谷 義一 社員 弁理士 阿部 和夫</div><div>〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目6番20号 TEL (03) 3589-1201 (代) FAX (03) 3589-1206 URL: http://www.taniabe.co.jp E-mail: y_tani@taniabe.co.jp</div></div>		<div><div>青和特許法律事務所</div><div>代表パートナー 所長 弁理士 青木 篤</div><div>〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル TEL (03) 5470-1900 (代) FAX (03) 5470-1911 http://www.seiwapat.jp/</div></div>	<div><div>磯野国際特許商標事務所</div><div>所長 弁理士 磯野 道造</div><div>〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番4号 砂防会館別館内 TEL (03) 5211-2488 (代) FAX (03) 5211-2482 URL http://www.isonopat.gr.jp</div></div>		
<div><div>特許事務所データベース</div><div>本特集に掲載された特許事務所の情報は、日刊工業広告社WEBサイト内の「特許事務所データベース」からもご覧いただけます。</div><div>日刊工業 特許事務所 検索</div></div>		<div><div>久遠特許事務所</div><div>弁理士 笹島 富二雄 共同代表 弁理士 奥山 尚一</div><div>〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトビル7階 TEL (03) 3508-9577 FAX (03) 3508-8897 URL : www.quon-ip.jp E-mail : mail@quon-ip.jp</div></div>		<div><div>萼特許事務所</div><div>所長 弁理士 萼 経夫 副所長 弁理士 宮崎 嘉夫</div><div>弁理士 小野塚 薫 則雄 弁理士 加藤 勉 弁理士 山田 清治 弁理士 田上 明夫 弁理士 小山 京子 弁理士 高 昌宏 弁理士 伴 知篤</div><div>〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目2番地 新御茶ノ水アーバントリニティ5階 TEL (03) 3253-5371 (代) FAX (03) 3253-5380</div></div>		<div><div>Seishin せいしん特許法律事務所</div><div>所長 下田 容一郎 弁理士 野崎 俊剛 弁理士 瀧澤 匡則 弁理士 下田 憲雅</div><div>〒107-0052 東京都港区赤坂1-12 明産溜池ビル8階 TEL (03) 3588-8555 (代) FAX (03) 3588-8558 http://www.seishin-ip.com E-mail: info@seishin-ip.com</div></div>	<div><div>鈴木正次特許事務所</div><div>会長 弁理士 鈴木 正次 所長 弁理士 浦井 謙一 (特定侵害訴訟代理業務可能) 副所長 弁理士 山本 典弘 所長 代理 弁理士 鈴木 一 永</div><div>〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-3 太田紙興新館ビル9階 TEL (03) 3353-3407 FAX (03) 3359-8340 URL http://www.suzuki-po.net</div></div>